

# 令和 4 年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	16	学 校 名	県立水戸第二高等学校				課 程	全日制		学校長名	渡邊 政美					
教頭名	坂本 真美			小出 岳夫				事務(室)長名		後藤 和彦						
教職員数	教諭	55	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	4	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	4	技術職員等	3	計	73
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		0	323	0	319	0	314	0	0	0	0	956	24		
	科															
科																

## 2 目指す学校像

民主的な国家及び社会の形成者にふさわしい資質・能力を身に付け、社会の中核として活躍する、心豊かな人間の育成

## 3 三つの方針 (スクール・ポリシー)

育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<ol style="list-style-type: none"> <li>幅広い教養としなやかな知性を身に付け、自ら考える力を磨くことで、これからの時代を切り拓く力を育成します。</li> <li>規範意識の醸成を図るとともに他者を思いやり、命や人権を尊重する、心豊かな人間を育成します。</li> </ol>
---------------------------------------	---

別紙様式 1 (高)

	<p>3 社会の中核として活躍するために、協働学習、探究活動、部活動、学校行事等を通して、人と関わり高め合えるコミュニケーション能力を育成します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<p>1 新たな時代を創り、社会に必要とされる、自らの意志で学ぶ力と、人生をより豊かに生きる力を育成します。</p> <p>2 ICT を活用し、他者とながら高め合う協働的な学び合いを推進し、これからの IT 社会で求められる ICT 活用能力を身に付けます。</p> <p>3 探究力を育む教科横断的・課題解決型授業の実践を通して、課題発見・解決能力の向上を図ります。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<p>1 本校の歴史ある校風や教育目標に共感し、主体となって教育活動に取り組む熱意ある生徒を募集します。</p> <p>2 豊かな人間性と社会性を身に付け、社会の中核を担い活躍したいという志を持つ生徒を募集します。</p> <p>3 心が優しく、集団の一員として他者と協働で学ぼうとする姿勢を持ち、自ら考え積極的に行動できる生徒を募集します。</p>

4 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭での学習時間が十分に確保できていない生徒もいる。</li> <li>○受動的な学習姿勢の生徒が増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題の量と質 (生徒自らが選択する) の精選が必要である。</li> <li>○主体的かつ継続的な学習活動を身に付けさせる必要がある。</li> <li>○学校行事等をとおして生徒たちの学習意欲が高まる努力をしていく。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1 学年から 3 学年まで進路行事が充実しており、生徒の取り組みも熱心である。</li> <li>○『進路資料』を作成し頒布している。また進路に関する冊子、大学入試過去問などを収集し、生徒も積極的に進路指導室を利用している。</li> <li>○国公立大現役合格者 100 名以上を 7 年連続達成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路行事について新型コロナウイルスの影響を考慮しながら的確に実施する。</li> <li>○進路に関する冊子を生徒が身近に接する機会を増やす。</li> <li>○大学受験にむけた生徒への支援を促進させる。</li> </ul>

別紙様式 1 (高)

<p>生徒指導</p>	<p>○基本的な生活習慣や態度が身につけている生徒が多い。安心安全で落ち着いた学校生活ができている。しかし、登下校時の歩き方や自転車あの乗り方でまわりに迷惑をかけている現状もあり、苦情をいただくこともある。</p> <p>○令和4年度のスマホ家庭のルールづくり運動において、犯罪に巻き込まれる危険もあるネット上のみのつきあいの人と情報のやりとりをしたことがある生徒の割合が20%であった。</p> <p>○不登校生徒が増加している。</p>	<p>○マナーアップ運動・学期毎の全体指導・月初めの登校指導を行う。</p> <p>○スマホは非常に便利であるが、犯罪に巻き込まれる機会も増している。自らの命、他者の命を互いに尊重し合える力を養い安全にスマホを活用する必要がある。</p> <p>○多様性を認め合いお互いを尊敬できる人間関係を構築する必要がある。</p>
<p>特別活動等</p>	<p>○約90%の生徒が部活動・同好会に参加している。コロナウイルス関係で活動が制限される中積極的に活動を継続している。</p> <p>○生徒会活動、リーダー研修会を始め多くの自主的活動に積極的に関わっている。</p>	<p>○学習と部活動の両立を目指し、学習計画の立て方、学習の仕方、計画の修正の仕方を身につけさせる必要がある。</p> <p>○生徒全体が問題点や工夫の仕方の発見、いかに実施していくかの方法を身につけさせる。</p>
<p>働き方改革</p>	<p>○多様な生徒への対応により、教職員の長時間勤務が続いている。業務内容が多岐にわたり、担当者への負担が増加している。業務の明確化・適正化をはかり、削減する業務を検討する機会を設ける必要がある。</p> <p>○ICTの導入・更新により、業務の効率化をはかり、研修時間の確保に努める必要がある。情報の共有、関係機関との連携等により校内支援体制を整える必要がある</p>	<p>・担任、学年団が個々の生徒に丁寧に寄り添うことで対応しているが、多忙化、時間外勤務を招くきっかけになるという課題がある。</p> <p>・ICT機器の利活用が、教員に逆に圧迫感と負担感を与えてしまう現状の改善が、喫緊の課題である。</p>

5 中期的目標

学校が生徒にとって、様々な力を身に付ける場所となるように、学校全体で「主体的・対話的で深い学び」への授業改善を実現し、生きる力を育む、キャリア教育の推進を図る。

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 豊かな人生を切り拓く、学びに向かう力、人間性等の育成	(1) ICT機器(タブレット、電子黒板等)を活用した、協働的な学び合いの推進① (2)探究力を育む教科横断的・課題解決型授業の実践② (3)「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った探究活動の充実③ (4)「思考力・判断力・表現力」を育成する言語活動の充実④ (5)SSHの学びを活かした、未来を担う科学技術分野で活躍する人間の育成⑤ (6)自主的・能動的な学びの確立(学校図書館活用の促進、学習動画の活用等)⑥
2 生きる力を育む、キャリア教育の推進	(1)進路希望を実現する、キャリアカウンセリングの充実⑦ (2)キャリア形成を視野に入れた、キャリアパスポート等を利用しての個別進路指導(個別面談)の充実⑧ (3)思いやりや助け合いの心を育成する社会奉仕体験活動の推進⑨ (4)豊かな人間性と社会性を身に付けるための特別活動及び部活動の充実⑩ (5)社会のリーダーとして活躍するための、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の育成⑪ (6)国際理解教育を推進し異文化を理解するとともに他者を尊重する態度の育成⑫
3 生徒が安心して学べる学校づくり	(1)自律的で責任ある生活習慣の確立⑬ (2)一人一人の悩みや不安に寄り添う教育相談体制の充実⑭ (3)心を育てるグループワーク等を活用した温かな心の育成と望ましい人間関係の構築⑮ (4)校内安全点検の徹底及び危険箇所の早期発見⑯ (5)自然災害避難時等における安全計画の再確認及び危機管理意識の徹底⑰
4 地域とともにある信頼される学校づくり	(1)地域の小・中学校等と連携した教育活動の展開⑱ (2)ボランティア活動や部活動を通じた地域行事への積極的な参加⑲ (3)信頼される学校づくりを目指す、教育活動の広報(ホームページ、新聞等)⑳ (4)保護者や学校評議員等との緊密な連携㉑ (5)地域関係機関との連携による、地域から信頼される学校づくり㉒
5 働き方改革の推進	(1)勤務時間の管理と適正な勤務時間の設定及び勤務時間削減に向けた取組㉓ (2)業務の役割分担と適正化にむけたPDCAサイクルの構築㉔ (3)ICT機器を活用した業務の効率化㉕ (4)同僚性、協働性を高める学校組織づくりの強化㉖ (5)コスト意識を高め、公務員としての自覚を持って職務に当たる意識の徹底㉗

別紙様式 1 (高)